

☆さつきばれ。通信☆

「文字からのメッセージ」

先日、外国の方と話す機会がありました。今、海外では漢字ブームがおきているそうで、「日本語は漢字一つ一つに意味があってとても面白い！文字に意味があることが格好良い！」と言われました。理由は英語のアルファベット一つ一つには意味がないからだそうです。確かに、漢字には意味があります。そこで今回は漢字や文字の意味を紹介したいと思います。

漢字が生まれたのは古代の中国で、日本に漢字が伝来したのは4世紀。7世紀頃には漢字が日本中に広まりました。

親という字は木の上に立って見ると書きます。

親は木の上に立って見る人。

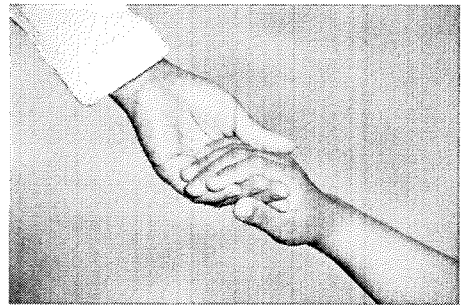
少し離れた（本人からは見えない）場所から子を見守る人。

先生は先に生きる人と書きます。

長く生きている人。

子どもたちは先に生きる人の背中を見て生きていく。

子どもたちに自分の生きてきたことを教える人。



大人は大きな人と書きます。

体だけではなく、心も大きい人。

生徒は生きて歩（徒）むと書きます。「生」には土から芽が出て育つ意味があります。

育ちながら歩む人。

地域は 大地の区域と書きます。

人間が生活し、動植物が生息・繁茂する大地の一定の区域。

支援は支えて応援すると書きます。

支えて、手をさしのべて助ける。

福祉の福（しあわせ）で祉（さいわい）と書きます。

どちらも同じ「幸」という意味。

実は「親」という字の成り立ちは、‘子が親の位牌を見ている’なのです。でも、金八先生だったらきっと‘木の上に立って見守る人’と言うでしょう。

子に過ぎたる宝なしということわざがあります。

子は、どんな宝よりも、勝っているものである、という意味です。

子は宝。未来を担う人です。

まだ様々な課題がある福島ですが、未来を担う子たちが夢を持ち、大人になることを楽しみに出来る地域。育ちながら歩いている生徒の前には先に生きる先生という頼もしい大人がいて、どんな時も子を優しく見守る親という大人がいる。地域にはたくさんの頼れる大人がいて、先生も親も地域の大人も、子をどんな宝よりも大切にして、子の幸せを願い、それぞれの大人が、出来ることで子育てを支援する地域。

文字には素敵な意味がありますね。時には、文字の意味を調べてみるとおもしろい発見があるかもしれません。

【参考文献：新潮日本語漢字辞典 新潮国語辞典】
（文責：スクールソーシャルワーカー 杉山大成）



連絡先：本宮市教育委員会 幼保学校課 学校教育係(本庁2階)

TEL: 33-1111(内線 236) E-mail: ssw@city.motomiya.lg.jp

ダイヤルイン TEL: 24-5445

(10月6日からダイヤルインが導入されます。10月中はどちらの番号もお使いいただけます。)